

山崎さん搭乗のシャトル5日発射

原村の旧友現地で声援

5日に打ち上げられるスペースシャトル「ディスカバリー」に搭乗する宇宙飛行士山崎直子さん(39)の小学校時代の同級生で、諏訪郡原村の平手美環さん(39)が、米航空宇宙局(NASA)の招待で、打ち上げを見守るため米フロリダ州のケネディ宇宙センターを訪れる。同村に移住し、宇宙に関する展示がある八ヶ岳自然文化園で働くようになって交友が再開。山崎さんが夢に見た宇宙へ旅立つ瞬間を心待ちにしている。

1報 2010.4.2



八ヶ岳自然文化園の展示場で宇宙飛行士のパネル写真を持つ平手さん

「活躍励まされる」

平手さんは東京都出身。父親の仕事の関係で小学5年の時に千葉県松戸市の小学校に転入。山崎さんとは6年で同級になり、帰りによく遊んだという。同じ中学に進んだが次第に接点が減り、卒業後は連絡を取らなくなった。2003年に原村へ引越越し、村内の八ヶ岳自然文化園で働き始めた。宇宙に関する展示で山崎さんの写真が飾られているのを見て、「これも何かの縁だ」と山崎さんの実家に手紙を送った。以来、数カ月に1度、メールなどで連絡し合うようになった。

平手さんは思い付いた時に近況を報告。山崎さんも訓練の合間に返事をよこし、以前から「宇宙に行く時は美環ちゃんに見送りに来てもらいたい」と書いていたという。

NASAは搭乗者の希望に基づき、招待する人を決める。招待状が届いたのは昨年秋。「信じられなかったけれど、うれしかった」。旧友の活躍する姿にはいつも励まされるという。当初、直接会う機会はないが「心からの声援を送りたい」と話している。



ケネディ宇宙センターに到着した山崎直子さん(11日午前7時、米フロリダ州ケープカナベラル(共同))

山崎さん到着「いよいよ」

【ケープカナベラル(米フロリダ州)共同】5日に打ち上げられるスペースシャトル「ディスカバリー」に搭乗する山崎直子さんが1日午前7時前(日本時間同日午後8時前)、発射場のある米フロリダ州の米航空宇宙局(NASA)ケネディ宇宙センターに到着、「いよいよこの時がやってきました。感無量です」とあいさつした。

山崎さんはほかの乗員6人と

ともに訓練施設のあるテキサス州ヒューストンからジェット機で移動。まだ薄暗い滑走路に降り立つと、同僚と笑顔で会話を交わし、リラックスした表情を見せた。

ディスカバリーは国際宇宙ステーションへの物資輸送が主な任務で、山崎さんはロボットアームの操作を担当。ステーションに運び込む物資を管理する責任者も務める。滑走路での記者会見では「たくさんの人々の努

力と思いとを一緒に運べたらと思います」と力強く抱負を述べた。

山崎さんは今回が初飛行で、日本人女性で2人目の宇宙飛行士。ステーションには現在、野口聡一さん(44)が長期滞在しており、宇宙で初めて日本人2人が対面することになる。